

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月が前年比107%で、今月が124%と景気は良い。要因は前月辺りから報道されている2027年のエアコンの新たな省エネ基準開始の影響である。省エネ達成率100%以上でなければ製造できなくなるため、現行品への駆け込み需要が発生しており、エアコンは前年比で170%となっている。
	◎	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・新たな省エネ基準の開始を背景として、エアコンの売上が特に大きく伸長しており、家電全体の販売量、売上をけん引している。
	◎	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・3か月前が例年になく売上、収益とも最悪だったため、それと比べれば良くなっている。
	○	一般小売店〔茶〕（経営者）	単価の動き	・物価上昇による値上げが続いているが、品質や価値のある商品は価格改定後も購入されており、客の品質や価値を重視した購買行動がみられる。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲料関係の需要が増えている。
	○	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月も値上げの影響が続いているため、単価の動きはやや良い。
	○	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・前年よりも暑くなるのが早く、エアコン中心に稼働している。
	○	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は増えていないが、客単価は上がっている。たまのぜいたくには遠慮なくお金を使うようである。また、物価高に慣れてきて、外食ならこのくらいの値段は仕方ないという理解が深まっている。
	○	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・宿泊は前年比150%と好調である。宴会や会食についても、総会シーズンということもあり、同様に好調である。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門はゴールデンウィークや近隣公園の花を見に来る客の需要もあり、週末や祝日は高単価かつ高稼働で販売できている。料飲部門は朝食の喫食率の上昇と総会需要を獲得できたため、やや良くなっている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初めより昼も夜も動きが良く、前年同月と比べて8%の増収である。
	○	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・5月は前年より土日が2日多いこともあり、単価が前年比ではプラスとなっている。土日の日数を加味しても来場者数は前年を上回っている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・民間の理容美容ポータルサイトを年末から活用し始め、知名度が上がったお陰で、若い世代の来客数が前年同月比で20%増えている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは出掛ける人が多いとみていたが、結構どこにも行かない人も見受けられた。新緑の季節になり、米価は落ち着いてきたが、中東情勢の影響から、今月も物価が上がり、買い控えがみられる。スーパーでは毎日のチラシを見て何をかうか考えている。
	□	コンビニ（店長）	単価の動き	・以前と比べて、客が食べたい商材を選ぶというよりも、価格の安い商材を選んでいる。
	□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・数か月前から、新車や中古車の販売と車検整備等のサービス部門の売上バランスが横ばい状態である。
	□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年、繁忙期が終わった4～5月は、受注のペースが落ち込む傾向にある。
	□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・中東情勢の影響か、なかなか人の動きや購買意欲等、盛り上がりには欠け、やや冷めている雰囲気である。
□	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・中東情勢の影響により、ゴミ袋やラップ、トイレトーパー等、一時的に需要が上向いている商材がある。また、気温の上昇により夏物の動きも早くなっており、活発である。	
□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	競争相手の様子	・夜間の人流がめっきり少なくなっている。同業者も来客数にばらつきが多いようで、不安定な様子である。	

□	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・売上の数字的には変わらないが、体感で客足は良くない。相変わらずだが、予約以外のフリー客の動きが鈍い。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・給食業務では4月からの人件費上昇に加え、食材費が高止まりしている。手袋類ほか資材関連も一部入手しにくくなっており、調達先からは買い置きは控えるようにいわれている。値上がり品も多く、結果、収支が圧迫される状況が続いている。
□	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・5月はゴールデンウィーク期間中の来客数は好調だったが、連休明け以降は前年より来客数が減少している。6月は更に減少予定である。
□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・中東情勢の影響か、例年この時期に海外から来ていたグループの来店が減っている。
□	旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は前年並みの動きだったが、休み明けからは低空飛行である。今後もやや悪い状態が予想される。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・中東情勢の影響もあり、当社仕入れに影響が出始めている。サービス提供に必要な機器不足のため、販売量が鈍化している。
□	通信会社（営業担当）	単価の動き	・中東情勢によるナフサの影響も多少あるが、全体的には余り変わらない。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年と比べて、日並びが良いゴールデンウィークに加え、安定した天候に恵まれる等のレジャーに適した日が続いたことやイベント開催などが功を奏し、前年よりも入園者数が増加している。
□	設計事務所（所長）	単価の動き	・様々な物資が高騰しており、消費控えが続くとみている。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近是不動産のテナント、土地の購入希望等の問合せが非常に少ない。特に、貸事務所は空室が目立ち、問合せもない。飲食店関係では多少問合せはあるものの、なかなか成約に結び付かない。また、後継者問題での閉店が増えてきている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・写真を趣味として楽しんでいた客の来店が少なくなり、このところ、更に減少が目立つようになっている。
▲	商店街（代表者）	それ以外	・近隣の橋の架け替え工事が進み、通行状況が更にひどくなっている。
▲	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・お買い得イベントやセールを開催すると反響が大きく、一見好調に見受けられる。しかし、イベント等の開催前は買い控えが顕著で、来客数も前年を下回る状況が続いている。客の現状がそのまま日々の商環境に直結している。
▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・中東情勢の影響から、当店でも客の使うセロハンテープを廃止したため、客の購買も減少している。今後は包装パックの変更や商材価格の改定も想定されるため、厳しくなる。
▲	スーパー（商品部担当）	それ以外	・2月中旬から物価支援対策で、プレミアム付商品券の発行が始まり、一時的に数値の上昇があり、ここ数か月は良かった。しかし、その分を差し引くとやや悪い状況で推移している。
▲	スーパー（経営企画）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数の継続的な減少により、やや悪くなっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・商品単価自体は、各カテゴリーでの価格改定や値上げの影響により前年を上回って推移している。一方で、客の節約志向や生活防衛意識の高まりから、購入点数を抑え、必要最低限の商品のみ購入する傾向がみられる。結果として商品単価は上昇しているものの、買上点数や購買量は買い控えが生じている。
▲	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・他業種も含め全体的に物価が上がっており、必要不可欠なもの以外は買い控えになっている。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・5月はゴールデンウィークで休日が多く、観光地ではない地方ではタクシー利用客はかなり少なく、売上は上がらない。6月には料金値上げが決定したため、更に利用客が少なくなりそうである。
▲	通信会社（総務担当）	来客数の動き	・来客数が前月比で2割減少している。

	▲	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・ナフサ不足による出荷停止の品物や全体的な工事費の高騰により、コストが上昇して、住宅が取得しにくくなっている。これに金利上昇が加わるとダブルパンチで、かなり影響が出てくると予想される。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕(営業)	販売量の動き	・建築資材の品薄や欠品が相次いでいる。案件を受けても工事の日程が見通せず、計画自体が見送りになるケースが増えている。
	×	一般小売店〔家電〕(経営者)	単価の動き	・家電業界だが、エアコンに関する部材やその他の値上がりが目立ち、物価高の影響も非常に大きい。
	×	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・夏のボーナスについての話題が出てこない。
	×	その他専門店 (総務担当)	単価の動き	・品物が入ってこないの、仕入れができない。
	×	ゴルフ練習場 (経営者)	販売量の動き	・商品の入荷が遅れている。予約販売で対応している。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	経営コンサルタント	取引先の様子	・化成品製造業の一部では、中東情勢等の影響から原材料価格高騰による製品値上げ前で、受注が増えている。他方、自動車関連部品の下請企業は、これまでの受注減少傾向が落ち着き、安定している。
	□	食料品製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先の飲食店では、原材料価格の高騰分を価格転嫁したところ、来客数が大幅に減ったと嘆いている。
	□	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今のところ、良くも悪くもなく推移している。
	□	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注が上向いてきたかというところで、中東情勢の影響により、先行きが不透明になってしまっている。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・製品により増減はあるものの、全体では余り変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業(総務担当)	取引先の様子	・今のところ、主要取引先の生産は安定している。
	□	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・夏物家電、特にエアコンは2027年の省エネ基準の影響により、出荷量は増えている。また、冷凍庫等や熱中症対策の空調服等も目立ち、全体的に3割ほど輸送量は増えている。中東情勢の影響により、ナフサやエンジンオイル等の不足等が業界としては響いており、用車費のコストも高く、利益が薄くなっている。
	□	金融業(営業担当)	取引先の様子	・現状は横ばいだが、今後については不透明感があるため、後退するという取引先が多い。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・大体、いつもと同じ流れである。特に目立って判断を1つ変えるほどの何かはなく、毎月が進んでおり、変わらない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・原油関連製品が全く入荷できないということはないが、値上げ通知が来ている事業所が多い。
	▲	化学工業(管理担当)	それ以外	・主要材料価格が高騰し、高い物を買わなければならない。また、一部の材料は入手が困難となっている。
	▲	一般機械器具製造業(経営者)	それ以外	・中東情勢が不安定であるため、機械加工に必要な潤滑油の入手が困難になっており、近隣の工場では稼働できない状況が発生している。
	▲	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響か、皆、控えているのか、動きが鈍くなっており、注文が徐々に減っている。
	▲	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先各社、ゴールデンウィークで稼働日が少ないため、どこも悪い。
	▲	広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・市内において個人経営の飲食店の閉業が相次いでいる。来客数は悪くないのに経費が高騰しているために営業すればするほど赤字となり、断念するケースが多い。
	×	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・石油製品の品薄の影響により、受注元で生産が遅延しているため、直接影響がなくても、受注は減少傾向である。
	×	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・建物設備のメンテナンスでは、資材の供給が遅れて減少している。予定していた受注が延期や未定となるものもあり、受注が減っている。

雇用 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・5月のゴールデンウィークはやはり人出が期待されており、求人も活発さをみせたが、飲食店、小売の一部では、どうしても対応できないような人選があり、そうしたところはかなり四苦八苦している様子がうかがえる。買い控えもあるだろうが、依然として求人については動きがある。
	○	人材派遣会社 (管理担当)	求職者数の動き	・コールセンターの派遣業務に求職者が集まり、収益が上がっているため、やや良くなっている。
	□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で連続して微増であるが、前年同月と同水準である。
	□	学校[専門学校] (副校長)	求人数の動き	・本校への求人状況をみると、ほぼ例年並みで大きな変化はみられない。今後は中東情勢によって変わる可能性はあるものの、様子見の状況とのことである。
	▲	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・以前と比べて物価が高騰しているためか、仕事内容よりも時給を優先項目として仕事を選ぶ候補者が増えている。
×	新聞社[求人広告] (担当者)	それ以外	・材料の品薄や高騰で制作に支障が出ている。	